

廃車になった車両

1.はじめに

多くの鉄道会社では毎年新型車両が導入され、改造、廃車が行われていますが、今回はその中でも2017年~2018年に廃車されたJR西日本の車両を種類別に紹介します(新幹線は除く)。※記載されている車両は全て廃車になったものです。

2.機関車、客車

(1)DD15型

車両番号：11

所属：富山地域鉄道部

概要：冬季の除雪に使われていました。



DD15が城端線で試運転(cdn3.railf.jp/鉄道ファン)より引用

(2)DE15型

車両番号：1507

所属：福知山電車区豊岡支所

概要：冬季の除雪に使われていました。



はてなダイアリー(d.hatena.ne.jp/misakanet/DE15)より引用

(3)あすか

車両数：7両1編成

所属：網干総合車両所宮原支所

概要：12、14系からなり、ジョイフルトレインとして用いられていましたが、ここ数年使用されず、ついに廃車となってしまいました。



Wikipedia あすか(ja.wikipedia.org/あすか)より引用

(4)SL やまぐち号

車両数：発電車を除く5両

所属：下関総合車両所新山口支所

概要：人気のあったSL やまぐち号の客車は新製のため廃車となりました。



WikipediaSL やまぐち号(ja.wikipedia.org/SL やまぐち号)より引用

・トワイライトエクスプレス

車両数：9両×3編成+カニ1両

所属：網干総合車両所宮原支所

概要：デビューからラストランまでは幅広い世代から人気を博し、最後は惜しまれつつ引退しました。臨時の際には編成も様々で多くの鉄道ファンを楽しませました。



3.電車

(1)103系

車両数：大阪環状線 8両×7編成

奈良線 6両×3編成 4両×11編成

阪和線 6両×9編成 4両×7編成

和田岬線 6両×1編成

所属：吹田総合車両所森ノ宮支所

吹田総合車両所奈良支所

吹田総合車両所日根野支所

網干総合車両所明石支所

概要：高度経済成長を支えた103系も廃車が進行し、今となってはかなりレアな車両になりました。車両の異動や塗装変更が盛んにおこなわれ、原型とかけ離れた姿のものもあります。(アーバンネットワークについて詳しくは[こちら](#)をご覧ください。)



・ 201 系

車両数：8両×2編成

クハ 201 2両×4ユニット(奈良転属による余剰)

所属：吹田総合車両所森ノ宮支所

概要：こちらは 103 系の置き換え車両として投入されました。



4.まとめ

いかがだったでしょうか。様々な新型車両が投入される中、これまで主流だった国鉄型の車両が姿を消していっています。今回はその車両についてまとめました。新型が投入されることで我々乗客にとっては利便性や快適性の向上につながっていますが、これまで親しんできた車両を見られなくなるのは寂しくもあります。

それぞれの車両が違う形でまた見られることができることを期待し、まとめとさせていただきます。最後までお読みいただき、ありがとうございました。

5.参考文献

交友社 鉄道ファン7月号付録 車両配置表
関西編成表 kansaihenseihyo.wiki.fc2.com

写真は特記が無ければ筆者撮影